

録を行います。登録していない科目を受講しても単位は認められません。年度初めにホームページ上で公開される『WEB 時間割』に従って、原則として Web 上の『K-SMAPY II (学修支援システム)』から登録します。なお、履修登録は各自の責任において行ってください。

- ※1 履修登録していない授業科目を、受講することはできません。
- ※2 特に指定のない限りは、同一科目名の授業を重複して履修することはできません。
- ※3 クラス指定のある授業科目は、指定された曜日と時限で履修しなければなりません。
- ※4 各年次に配当された授業科目は、原則としてその年次で履修してください。なお、上級年次に配当されている授業科目を下級年次の者が履修することはできませんが、上級年次の者が下級年次に配当されている授業科目を履修することはできます (ただし、科目により履修できない場合もあります)。
- ※5 履修登録した授業科目を修得できなかった場合、必修科目については再履修をしなければなりません、担当教員が同じである必要はありません。なお、再履修科目の単位も年次別履修単位制限に含まれます。
- ※6 履修登録のスケジュールは、年度によって変更することがあります。

【事前登録】

授業科目の中には、教育効果を高めるために履修者数をあらかじめ定めて実施する科目があります。そのため、本登録の期間前に事前登録を行う場合があります。また、教室定員を上回った場合には抽選を行うことがあります。

【シラバス (講義概要)】

履修する授業科目を決めるためには、授業の内容をできるだけ詳しく知る必要があります。本学で開講される授業科目については、K-SMAPY II のシラバスに、授業のテーマ・授業内容・到達目標・授業計画・成績評価の方法や基準等を掲載しています。これらの情報をよく見極めたくて、授業の履修登録を行うようにしてください。

【履修登録内容の確認】

履修登録した授業科目については、K-SMAPY II 『学生時間割表』にて、自身の責任で必ず確認を行い、修正を必要とする場合は、履修登録期間中に修正を行ってください。

【年次別履修単位制限 (CAP 制)】

単位制の基準に基づき、次表のとおり、1年間に登録できる履修単位数が年次別に制限されています。この枠を超えて履修することはできませんので、注意してください。

人間開発学部

| 年次 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 単位数 | 23※1 | 23※1 | 23※1 | 23※1 | 23※1 | 23※1 | 24※1 | 24※1 |
| | 42※2 | | 42 | | 42 | | 48 | |

観光まちづくり学部

| 年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|-----|--------------------|-----|-----|-----|
| 単位数 | 42 (前期 23 単位※1) | 42 | 42 | 48 |

※1 セメスター (前期・後期) ごとの履修単位上限を 23 単位 (4 年次は 24 単位) と設定しています (たとえば 1 年次の前期に 23 単位履修登録した場合、後期の履修単位上限は 19 単位です)。なお、観光まちづくり学部は 2 年次以降は、学期ごとの上限は設けない。

上表の制限は、履修登録時の単位数に対するものであり、最終的に修得できなかった単位数も含まれます。

※2 1 年次前期の GPA が 2.20 以上であった場合に、学年上限に 4 単位を加え、後期に追加登録することができます。

※3 2・3 年次の上限単位数につき、前年度の年度 GPA が 2.20 以上であった場合に、学年上限に 6 単位を加えることができます。4 年次は一律 48 単位です。

※4 学士・編入学生の 3 年次上限は 48 単位です (セメスターごとの履修単位上限は前期 24 単位、後期 24 単位)。

※5 卒業論文の単位数は、年次別履修単位制限の枠内です。

※6 以下の科目は、年次別履修単位制限の対象から除外します。

- ① 教職・資格課程の科目で、卒業要件の 124 単位に含まれない科目